

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで (2018年12月期は4月1日から12月31日まで)
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日(2018年12月期は9月30日)
定時株主総会 基準日	毎年3月 毎年12月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ https://www.vinx.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) (各種お手続き) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

VINX

株式会社ヴィンクス

本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8
TEL.06-6348-8951(代)
<https://www.vinx.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。

ホームページのご案内

当社に関する情報は
ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.vinx.co.jp>



第30期 中間報告書

Make IT better with
VINX 2018.4.1 ▶ 2018.9.30

人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を
情報システム技術で融合し、
豊かな社会の実現に貢献します。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに第30期中間期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)における
当社グループの事業概況等を謹んでご報告申し上げます。



代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉

当中間期の連結経営成績

	前中間期	当中間期	前年同期比
売上高	127億88百万円	129億16百万円	101.0%
営業利益	7億22百万円	7億61百万円	105.3%
経常利益	7億19百万円	7億66百万円	106.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億17百万円	5億14百万円	123.3%

売上高 顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより、前年同期を上回る結果となりました。

利益面 売上高の増加によるものと原価低減に努めた結果、前年同期を上回る結果となりました。

アウトソーシング分野

システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、ヘルプデスクサービス等

売上高 55億 14百万円

前年同期差 2億12百万円増 前年同期比 104.0%

計画差 3億69百万円増 計画比 107.2%

営業利益 3億 43百万円

前年同期差 77百万円増 前年同期比 129.1%

計画差 54百万円増 計画比 119.0%

ソリューション分野

流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシステム、ネットビジネス等

売上高 42億 68百万円

前年同期差 36百万円増 前年同期比 100.9%

計画差 1百万円減 計画比 100.0%

営業利益 2億 89百万円

前年同期差 55百万円減 前年同期比 84.0%

計画差 24百万円減 計画比 92.2%

プロダクト分野

オープンPOSパッケージ、クラウド型タブレットPOSパッケージ、CRMパッケージ、MD基幹システム、次世代統合運用等

売上高 12億 85百万円

前年同期差 70百万円増 前年同期比 105.8%

計画差 3百万円増 計画比 100.3%

営業利益 80百万円

前年同期差 9百万円増 前年同期比 114.0%

計画差 0.3百万円減 計画比 99.6%

その他IT関連分野

ハードウェア販売、店舗システム導入展開サービス等

売上高 18億 47百万円

前年同期差 1億91百万円減 前年同期比 90.6%

計画差 2億55百万円減 計画比 87.9%

営業利益 48百万円

前年同期差 6百万円増 前年同期比 114.5%

計画差 0.9百万円増 計画比 101.9%

中間配当につきまして

2018年12月期の中間配当金につきましては、当初の予想どおり1株当たり5円とすることといたしました。なお、当事業年度は決算期変更により、2018年4月1日から2018年12月31日までの9ヶ月間となっております。従いまして、期末配当金につきましては、9ヶ月決算であることにより、1株当たり2円50銭を予定しております。

— 2018年度上期において実施した主な施策 —

主な営業トピックス

リテール事業の拡大	専門店	<p>次期POSシステム</p> <p>全国でドーナツチェーンを運営するお客様や温泉施設を運営するお客様より次世代POSシステム「ANY-CUBE Neo[®]」の導入案件を受注いたしました。</p>
	専門店	<p>店頭端末リプレイス</p> <p>大手化粧品メーカー様より、ECサイト向け受注在庫統合管理システム「VINX-OMS」のサービス提供開始に続き、店頭接客端末リプレイス案件を受注いたしました。</p>
	ドラッグストア他	<p>AI関連</p> <p>全国に展開する大手ドラッグストア様、大手スーパー様及び大手雑貨専門店様より、RPAの受注を獲得し、本番運用を開始いたしました。</p>
	卸売	<p>無人店舗ソリューション</p> <p>大手卸売業グループ企業様より、オフィス内売店や工場内売店といったマイクロマーケット向け無人店舗ソリューションの構築案件を受注いたしました。</p>
グローバル事業の拡大	流通・サービス	<p>テナント管理システム</p> <p>大手不動産事業グループの中国現地法人様より、テナント管理システムを受注いたしました。</p>
特定顧客事業の拡大	スーパー	<p>MD基幹システム</p> <p>大手総合小売業グループのスーパーマーケット業態3社のお客様に、MD基幹システム「MDware[®]」を導入いたしました。</p>
	スーパー	<p>EDIシステム、電子マネーシステム</p> <p>関東地方を中心として展開する大手スーパー様より次期EDIシステムの構築及び電子マネーシステムの構築案件を受注いたしました。</p>

ヴィンクス・ストアのオープン

フューチャースタ構想を実現するための第一弾として、2018年9月当社の東京オフィス2Fに実証実験店舗「ヴィンクス・ストア」をオープンしました。「ヴィンクス・ストア」では、ANY-CUBEセルフPOSを設置し、支払方法はQRコード決済でスタートしました。今後は、AIカメラによる不正防止及び自動発注等のソリューション開発を予定しています。



冷ケース×1、商品棚×2、約100アイテムの販売を行っています。

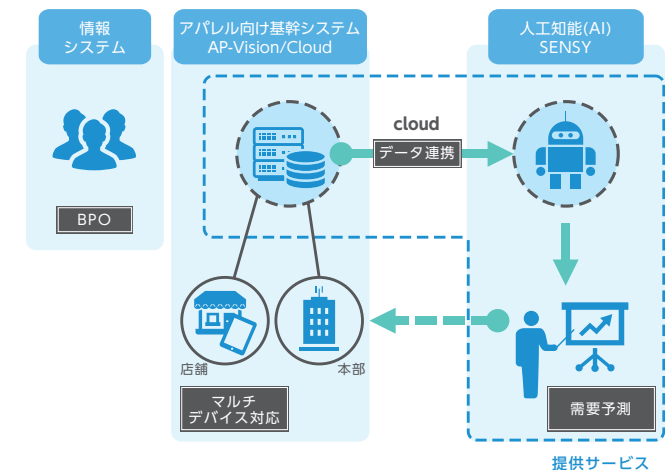


音声ガイダンスが付いた簡易セルフレジです。

専門店向けMDにおけるAI需要予測サービス提供開始

2018年10月よりパーソナル人工知能「SENSY」の需要予測機能と専門店向け基幹システム「AP-Vision/Cloud」を連携したサービスを開始いたしました。「SENSY」は、SENSY株式会社が開発した、人の感性（センス）を理解するパーソナル人工知能であり、同社はこれを活用した需要予測サービス「SENSY MD」を提供しております。「AP-Vision/Cloud」は、株式会社ホロンとヴィンクスが共同開発した専門店向けクラウド版基幹システムです。

これにより「SENSY MD」が予測した販売数量に基づく仕入れの実施や、値引き額に対する販売数量の予測によるマークダウンの最適化が、「AP-Vision/Cloud」の機能によって、専門店の実務オペレーションとして可能になりました。不良在庫・機会損失の低減、マーチャンダイジング・オペレーションの高度化を実現し、専門店事業における利益最大化を支援いたします。



提供サービス

▶▶ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期末 2018年9月30日現在	前期末 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	10,365,080	11,596,278
固定資産	5,878,800	5,812,755
有形固定資産	1,303,514	1,339,845
無形固定資産	2,674,221	2,615,990
投資その他の資産	1,901,063	1,856,918
資産合計	16,243,881	17,409,034
(負債の部)		
流動負債	4,871,760	6,244,190
固定負債	2,417,459	2,650,362
負債合計	7,289,220	8,894,553
(純資産の部)		
株主資本	8,294,409	7,868,615
その他の包括利益累計額	40,615	73,479
新株予約権	83,774	64,585
非支配株主持分	535,862	507,800
純資産合計	8,954,661	8,514,480
負債純資産合計	16,243,881	17,409,034

▶▶ 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2018年4月1日～ 2018年9月30日	前第2四半期累計 2017年4月1日～ 2017年9月30日
売上高	12,916,664	12,788,843
売上原価	10,141,375	10,089,469
売上総利益	2,775,288	2,699,373
販売費及び一般管理費	2,014,270	1,976,447
営業利益	761,018	722,926
経常利益	766,814	719,770
親会社株主に帰属する 四半期純利益	514,380	417,173

▶▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2018年4月1日～ 2018年9月30日	前第2四半期累計 2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,209,493	37,473
投資活動による キャッシュ・フロー	△729,279	△902,217
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,058,451	△616,191
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△16,810	△1,424
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△595,047	△1,482,360
現金及び現金同等物の 期首残高	4,992,155	6,037,945
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,397,108	4,555,585

▶▶ 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 44,800,000株
 発行済株式の総数 17,718,000株
 株主数 4,997名

大株主 (上位10名)

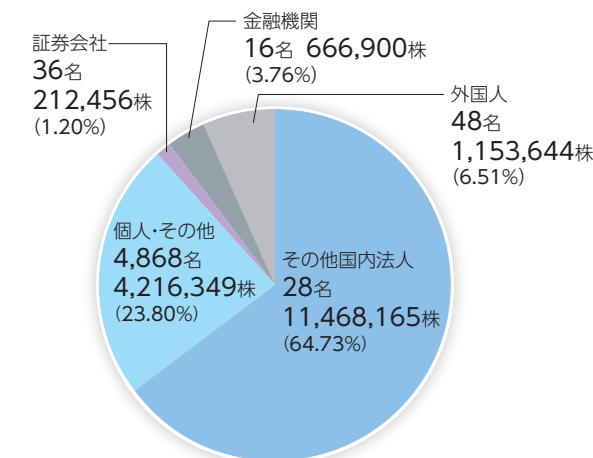
株主名	持株数	持株比率
富士ソフト株式会社	11,230,000株	63.38%
ヴィンクス従業員持株会	558,585	3.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	223,900	1.26
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	197,617	1.12
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASH/PB)	168,147	0.95
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	161,814	0.91
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	151,894	0.86
有限会社協和商事	149,400	0.84
神林忠弘	109,000	0.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	106,600	0.60

(注)持株比率については、自己株式(486株)を控除して計算しております。

▶▶ 会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	株式会社ヴィンクス (英文名 VINX CORP.)
本社	大阪市北区堂島浜2-2-8
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	596,035,384円
従業員数	1,490名(連結)、1,180名(単体)
連結子会社	株式会社 4U Applications 株式会社エリア 維傑思科技(杭州)有限公司 Vinx Malaysia Sdn.Bhd. VINX VIETNAM COMPANY LIMITED

▶▶ 所有者別株式分布状況 (2018年9月30日現在)



(注)上記には、自己株式(486株)は含まれておりません。

▶▶ 役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役	社長執行役員	藤田俊哉
取締役	専務執行役員	今城浩一
取締役	常務執行役員	木元覚
取締役	常務執行役員	竹内雅則
取締役		豊田浩一
取締役		岡嶋秀実
取締役(社外)		川口勉
取締役(社外)		大石健樹
常勤監査役		吉田裕
監査役(社外)		村田智之
監査役(社外)		佐藤吉浩